

きぼう船外実験プラットフォーム第2期利用計画

Kibo Exposed Facility Second Phase Utilization Plan

織田 裕久 [1]

Hirohisa Oda[1]

[1] 宇宙機構

[1] JAXA

1. きぼう船外実験プラットフォーム初期利用計画

きぼう船外実験プラットフォームの初期利用計画として以下の3ミッションが開発中である。

- (1) 全天 X 線観測 (MAXI)
- (2) 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ (SMILE)
- (3) 宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP)

これらのミッションは2009年度中に打上げる計画である。

2. きぼう船外実験プラットフォーム第2期利用計画

JAXA はきぼう船外実験プラットフォームの第2期利用計画を準備している。

2.1 募集

JAXA は2006年11月に第2期利用の募集を行った。

2.2 候補ミッション

募集は2007年2月に締め切った。33件の応募があった。きぼう利用推進委員会による選定が2007年5月に実施された。

3. 今後の予定

それぞれのミッションの提案機関とJAXAが協力して概念設計を実施してきた。

ポート共有利用については、2011年度に打上げる計画であり、2008年11月に開発フェーズへ移行した。

ポート占有利用については、2013年度に打上げる計画であり、2010年度に開発フェーズへ移行する予定である。